

チャペル週報

No.19

2023.10.23～10.27

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、
今は主に結ばれて、光となっています。
光の子として歩みなさい。

エフェソの信徒への手紙 5章8節



Central Garden (神戸三田キャンパス)

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

10月23日(月) 神 松岡 孝司(神学研究科 M2年)
経 人間を考える① 李 相勲(宣教師、経済学部准教授)
人 小西 砂千夫(関西学院大学名誉教授)
建 Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)
聖和 山内クラス ダッドレーチャペル

10月24日(火) 神 加藤 満(神学研究科 D1年)
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 人間らしさとは⑩ 打樋 啓史(宗教主事)
法 大宮 有博(宗教主事)
経 人間を考える② 豊原 法彦(経済学部教授)
商 薄井 良子(日本聖公会奈良キリスト教会信徒)
国 王 昱(国際学部教授)
理・工・生環 前川 裕(宗教主事)
総 世知原 周介(総合政策学部 1年)
教 宗教総部

10月25日(水) 神 小見 のぞみ(聖和短期大学宗教主事)
社 人間らしさとは⑪ Hans Peter Liederbach(社会学部教授)
法 Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授)
商 木原 桂二(宗教主事)
人 福留 洋平(神学研究科 M2年)
国 大石 太郎(国際学部教授)
理・工・生環 本間 優太(日本キリスト教団 神戸雲内教会牧師)
教 中井 珠恵(愛染橋病院チャプレン)

10月26日(木) 神 全 容佑(神学研究科 M1年)
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 人間らしさとは⑫ 荻野 昌弘(社会学部教授)
法 李 相勲(宣教師、経済学部准教授)
経 人間を考える③ 中川 慎二(経済学部教授)
商 木原 桂二(宗教主事)
人 酒井 晋弥(神学研究科 M2年)
国 Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授)
総 施 韻(総合政策学部 1年)
聖和 藤井 理恵(日本キリスト教団 芦屋山手教会牧師)

10月27日(金) ランバスチャペルアワー 「私の Mastery for Service」 李 善恵(宣教師)
神 「私の大切な場所」⑨ 浅野 淳博(神学部教授)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 人間を考える④ 舟木 讓(宗教主事)
理・工・生環 Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

10月27日(金) 宗教改革記念日(10/31)を前にして 小田部 進一(神学部教授)

Zoom でご参加希望の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へメールでお知らせください

見ようとしなければ見えないもの

田中 元気

幼稚園では毎日子どもたちと礼拝をまもっています。季節の話題や身近な自然物について子どもたちと多様な考えを出し合って話し合い、神様からの守りや恵みに気づき、共に喜び、感謝の祈りを捧げています。勤め始めた16年前から当たり前のように続けている日常となっていますが、私生活において“大人”同士で接していると、改めてその日常が豊かな時間であることに気づかされます。

先日久しぶりに父親と二人で食事をする機会がありました。その際に父親がこんな言葉を話していました。「見ようとしなければ見えないものがある」人は“新しい車が欲しいな”と思うと、道行く車についつい視線を向けてしまいます。以前は全く意識もしていなかったのに、ある時をきっかけに急に関心が湧いて目を奪われてしまう、といったものです。時にそれは時計であったり、髪型であったり、人であったりもします。なるほどなと思いましたが、それを子どもの世界で考えてみました。子どもたちは大人のように“見よう”としなくても、あらゆるものに興味を持ち、好奇心を抱いて探求します。試行錯誤し、その発見をいきいきとした表情で話してくれます。おそらくこれが大人と子どもの違いなのでしょう。子どもたちはあらゆるものを、あるがままに受け入れているのです。キリスト教主義教育の根幹は子どもの姿そのものから学ばなければならないと私自身は感じています。最近よくお目にかかるカメムシであっても、大人のように嫌がって突き放すようなことはなく（大人の反応から子どもが学ぶところは大きいかと思われませんが…）、体の色の違いを見つけたり、どうやったら臭いを出さないように捕まえられるかについて考えたりと、多様な角度で捉えていました。クラスでの話し合いでは、我々と同じように命が与えられていることにも気づいて愛でている姿が印象的でした。子どもたちは目の前にある事象を体全体で受け止め、心を動かして生活しています。その豊かな営みに保育者という立場で立ち会えることには感謝しかありません。

恵みや喜び、感謝といった心は、子どもたちがそうであるように、本来“見よう”としなくても“見える”はずのものだったのではないのでしょうか。【先生】…先に生まれた子どもとして、収穫感謝の時を子どもたちと共に迎えたいと思います。

（幼稚園教諭）

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」を配信しています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。(月 2 回程度更新されます)



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou>「風に思う」

関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

11月9日(木)17:50~18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

12月13日(木)17:50~18:20 クリスマス礼拝 打樋 啓史(宗教総主事)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

11月12日(日)10:00~11:00

11月26日(日)10:00~11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。参加費(入場料)は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

日時:2023年12月19日(火)17:30開場 18:30開始 21:00終了予定

場所:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

内容:第一部...聖書朗読と音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第二部...学院の音楽団体とゲストによるクリスマスコンサート

参加費(入場料):2,100円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売(10/6より販売中):

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 NUC, KSC, NSCで販売)

*チケットぴあ Pコード 253-010

<https://w.pia.jp/t/symphonyhall/>

*ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:ファミリーマート、セブン・イレブン

*ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333・火曜定休)

<https://www.symphonyhall.jp>

主催:関西学院

共催:関西学院後援会・関西学院同窓会

お問い合わせ:関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

チケットぴあ



ザ・シンフォニー
チケットセンター



◆CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。